



道徳だより

2



1 月

「ぼく はずかしいや」の学習から

「嘘をついたりごまかしたりせず、素直にのびのびと生活することのよさ」について考える学習を行いました。この教材は、主人公のこんきちが、お母さんにおつかいを頼まれたが、約束が守れず、嘘をついてごまかそうとする話でした。子どもたちは、「私も YouTube のことで嘘をついてしまったことがある。」「宿題をしていないのに、終わったと嘘をついたことがある。」など、自分の生活と重ねながら、考えていました。何度も嘘をつこうとしたときのこんきちの気持ちを考える場面では、「嘘はダメだと分かっているけど、怒られるのが怖くて言えないんだよな。」「でも、心がもやもやするんだよな。」など、うそをついてしまったときの気持ちを自分事として考え、友達に伝えていました。授業の後半で自分の生活を振り返る学習では、嘘をついてしまって心がもやもやしたり、嘘をつかずに心がすっきりしたりした経験を思い出し、ワークシートに記入していました。



